

次世代育成支援特別委員会

送付 18 - 4

子ども医療費助成制度の対象年齢を、小・中学生まで拡充
を実現するための陳情書

受付年月日

平成 18 年 6 月 14 日

陳 情 者

千代田区内神田 1 - 17 - 12

子ども医療費ネットワーク

代表 つづきまき
都築 牧

陳 情 書

(陳情の要旨)

一、乳幼児医療費助成制度を拡充し小・中学生まで通院・入院(所得制限なし。現物支給)とも適用すること。

二、一の要求が即無理であれば、小学校6年生まで、又は3年生まで、入院のみなど、できる所から拡充の実現を早期に行うこと。

(陳情の趣旨)

千代田区では、乳幼児医療費助成制度の対象年齢を早期から区独自で就学前まで実施頂いており、また、今年度より区独自の児童手当を拡充頂き、子どもを育てる親として、心より感謝しております。

日々健康に留意しても、いつ何時、病気やけがになるかわかりません。病気にかかっても窓口負担が高ければ、今後の学費やその他経費などを気にして財布のひもは堅くなり、受診を躊躇するのが本音です。

医療機関へのアクセスを躊躇させない医療費助成制度は優れた少子化対策の施策ではないでしょうか。

東京23区のうち、18の区で小学生以上の子どもへの医療費助成制度(今後の実施を含む)が広がり、昨年9月に陳情させて頂いた時から更に広がりを見せています。

この動きはこの制度が必要度の高い少子化対策であることを物語っていると思います。

私ども、子ども医療費ネットワークでは、2005年末から千代田区での子ども医療費助成制度の拡充を求める署名を行い、2月10日に区の子育推進室ご担当の方に、842筆(区内662、区外180)の署名を提出し要請させて頂きました。一筆一筆に切実な区民の願いが込められております。是非区議会で真剣にご討議頂き、千代田区民・保護者の切実な願いを踏まえ、一日も早く、医療費助成制度の対象年齢の拡充をして頂くことを強く望みます。

2006年6月13日

千代田区議会議長 殿